

飼い主のいない猫のエサやりについて

～猫を嫌われ者にしないために～

むやみにエサをあたえると・・・

ふん尿による衛生面の悪影響

花壇などが荒らされた

愛車が傷つけられた

繁殖して困ってしまう等

結果として

猫が嫌われてしまいます。

そればかりか

不幸な命につながることも

交通事故や虐待にあう

ネコどうしがケンカして傷つく



動物愛護の
精神です！

ひとつの命を大切に考えることと、

将来の動物の命をみんなで考えることが大切です。

ペットであれば飼い主の管理は当然です。しかし、飼い主のいない猫は誰が管理するのでしょうか？

エサを与える⇒ 住みつく⇒ 繁殖やフン害等の苦情⇒ 管理ができない⇒ 地域の問題になる

これは、よくあるパターンで結果として不幸な猫が増えてしまいます。

動物が、エサ場を探し生きていくのは本能で、自然の摂理です。

不幸なネコを増やさないためにも、飼い主のいない猫へのエサやりは止めましょう。